

幌延町 交流拠点基本構想 (素案)

令和5年11月

幌延町

4. 目的・コンセプト

交流拠点を整備するにあたり、基本的な考え方の整理を行う。

より具体的な方向性を示すものとして、ねらい、整備方針や立地を定める。交流拠点を整備するにあたって、基本的な目的やコンセプトを以下に整理した。

基本的な考え方		内 容
まちの拠点を整備する 目的(ねらい)	地域住民の生活の質を高める多 世代交流の場づくり	町民が日常使用する「遊び」「居場所 (サードプレイス)」「入浴」「買い物」な どができることによる暮らしの快適性の 向上
		ワンストップによる行政サービスの提 供
		宗谷エリアの「食」「物産」「アクティ ティ」「催事」「活動」などへの誘導・ 情報提供(案)
		「防災・災害時の拠点」となる設備や 施設の整備
まちの拠点の整備方針 (コンセプト)	町民・来訪者が憩い、集う、「幌延の拠点」	
目的と整備方針を具体 化するのに効果が期待 できる立地(整理案)	町民が日常的に使いやすく集まり やすい中心市街地	検討事項①: 必要な面積の確保
	他の公共公益施設や民間のサービ ス施設に近く相互に補完しあって利用利 便性が高いと考えられる立地	検討事項②: インフラ整備の有無
	用地買収等が比較的容易で地形 の起伏が少なく事業費の抑制が 期待できる立地	検討事項③: 法規制状況の確認

4-1. 交流拠点整備の目的

幌延町において、人口減少や高齢化による地域活力の低下が懸念される。また、老人福祉センターの公衆浴場の老朽化が進んでおり、対応が求められている。

そのため、地域コミュニティ推進や多世代の交流、町民の生活の質を高めるため、地域拠点の整備が必要と考えられる。

そこで以下にまちの拠点を整備する目的(ねらい)を設定する。

まちの拠点を整備する目的(ねらい)

地域住民の生活の質を高める多世代交流の場づくり

1. 町民が日常使いする「遊び」「居場所(サードプレイス)」「入浴」「買い物」などができることによる暮らしの快適性の向上

現在、幌延町内に様々な世代を対象とした遊び場が少なく、家と職場、学校との往復以外の居場所(サードプレイス)が求められている。

また、季節や天候に左右されない幼児を対象とした「遊び場」や日頃の疲れを癒す入浴施設、気軽に買い物を楽しめる場も確保する。

これにより、子育て世代や入浴後に寛ぐご高齢の方や観光客などのゆるやかなつながりや交流ができる場を目指す。

2. ワンストップによる行政サービスの提供

町民の利便性を向上させるため、幌延町保健福祉課を対象とした窓口によるワンストップの行政サービスの提供を目指す。

3. 宗谷エリアの「食」「物産」「アクティビティ」「催事」「活動」などへの誘導・情報提供

観光客が訪れ、幌延町をはじめとした宗谷エリアの観光について、食、お土産、観光アクティビティやお祭り、地域活動など最新の状況などがわかり、観光地への誘導につながる情報の提供を行う。

幌延駅にあるホロカルとの連携も行い、駅からの誘導により、町民だけでなく、観光客も気軽に寄ることができる場とする。

4. 「防災・災害時の拠点」となる設備や施設の整備

甚大な災害が起こった際、非常電源や備蓄された食料などを活用し、町民の安全を守る災害拠点として機能する場所を整備する。

4-2. 交流拠点整備のコンセプト

令和3年3月に策定した「第6次幌延町総合計画」の重点戦略には、「戦略2 まちへの新しい人の流れをつくる」が位置付けられ、「(3)多様な体験・交流機会の創出と関係人口の拡大」として、多様な体験・交流機会を創出し、本町への愛着の醸成を図ることが計画されている。

また、平成28年度より「まち・ひと・しごと創生会議」にて、まちの拠点に関する検討及びワークショップを実施しており、その中では「町民同士や多世代の交流を促す機能」を求める声があった。さらに令和3年度に実施した「町民アンケート調査」では、まちの拠点として求められる機能で、最も多い意見は「交流施設(交流サロン、憩いの場)」となっている。

交流拠点は、前項で掲げた地域住民の生活の質を高める多世代交流の場づくりを目的に町民や来訪者、観光客などが憩い、ゆるやかに集まって楽しめる「幌延の拠点」を整備方針(コンセプト)として整備するものとする。

まちの拠点の整備方針(コンセプト)

町民・来訪者が憩い、集う、「幌延の拠点」

施設内にたくさんのたまり場を設け、多彩な楽しみ方ができる空間を形成する。また、町民と観光客の交流や町民の多世代交流ができる「集い・交流の場」としても機能する。

4-3. 目的と整備方針を具体化するのに効果が期待できる立地

交流拠点の機能役割を考え、できるだけ多くの方が来訪しやすい場所とするため、幌延町役場周辺の立地を検討する。

5. 導入機能の検討

5-1. 整備方針を具体化させる機能

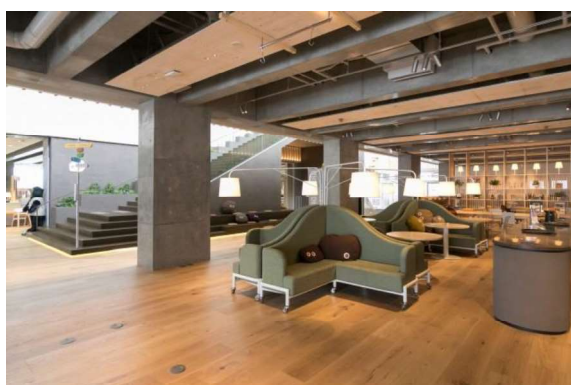
交流拠点を作るにあたり、整備方針を具体化させる機能をハード面とソフト面を考慮して、以下のように位置付けた。

5-1-1. 憩い・集いの機能

(1) 憩い・集い【交流・保養・娯楽・生活】

基本機能① 多世代交流・地域交流

子育て世代や入浴後に寛ぐご高齢の方など、ゆるやかに多世代交流ができるカフェスペースを設置する。映画の上映などを定期的に行い、同世代や多世代でつながりが生まれるきっかけの場を創出する。



小清水町防災拠点型複合庁舎 カフェスペース
(小清水町 HP)



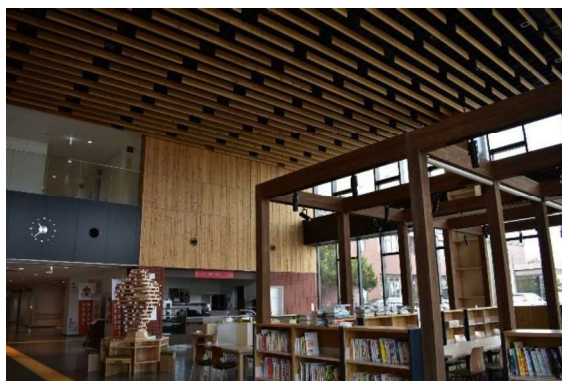
仙台国際センター駅「青葉の風テラス」カフェスペース

基本機能② 多目的フリースペース

学校や職場と家以外の第3の居場所“サードプレイス”として、学校帰りの子どもが自習や静かな遊びが出来る場とする。大人は、読書を楽しんだり、仕事をしたり、自由に利用できる場とする。

ゆるやかな“たまり”（例：DEN）をつくることにより、小さな空間をつくり、居心地の良さを感じさせるように配慮する。

また、プロジェクターや収納式スクリーンを設置し、イベント時はパブリックビューイングを行うなどの利用を検討し、災害時は一時避難場所として機能する。



函館市亀田交流プラザ ふれあいホール(函館市 HP)



DENの例
静岡県認定こども園リーチェル幼稚園
(書籍こどもおとなもうれしい園舎)

基本機能③ 屋内遊戯施設

四季を通じて、小さな子供が遊べる遊具があり、子供を見ながら親も休憩することができる。また同世代の情報交換ができる場として機能する。

子育てに関する相談は、建物内にある保健福祉課にワンストップで相談できるよう連携を図る。



紋別市 北海道立オホーツク流水公園 屋内活動室



小清水町防災拠点型複合庁舎ボルダリング(遊具)
(小清水町 HP)

基本機能④ 温浴施設

老朽化した老人福祉センターの公衆浴場の代替えとなる新たな温浴施設を整備する。浴室の他にシャワーやサウナ、脱衣しなくても遊びの間に利用できる室内足湯などを整備する。それにより、地域住民や温浴施設に訪れる旅行者との新たな交流が生まれることが期待される。



道の駅遠軽「森のオホーツク」
高濃度炭酸泉足湯



道の駅「森と湖の里ほろかない」
せいわ温泉ルオント 浴場
(幌加内町観光協会 HP)

基本機能⑤ 軽食提供

幌延町内にあるカフェや町外を含むパン店と提携した軽食を提供し、遊びに来た親子連れや温浴施設を訪れた方が軽食をとることができるスペースとする。

実店舗の誘致をする一方、パンやケーキ缶のベンダー設備、移動販売など特定日に仕入れができるシステムを検討する。



豊富町定住支援センター「ふらっときた」
憩いスペース
(豊富町 HP)



道の駅「森と湖の里ほろかない」
せいわ温泉ルオント 広間
(幌加内町観光協会 HP)

基本機能⑥ 厨房調理設備

町民を対象とした季節野菜などを使った料理教室や子供に向けて食育ワークショップなどができる厨房調理設備を設置する。

特産品の試作ができ、チャレンジショップで加工品を販売することも可能とする。災害時は炊き出しや備蓄した食品を加工することができる施設を導入する。



函館市亀田交流プラザ調理室
(函館青年センターHP)



苫小牧市沼ノ端交流センター「トピリカ」
(苫小牧市沼ノ端交流センター「トピリカ」HP)

基本機能⑦ 会議・研修室

町内会の会合や研修、地域活動の会議などに使用することができる会議室を設ける。

多目的フリースペースと繋げることにより、一体的な使い方ができるようにする。町民向けワークショップやカルチャーイベントなど、多様な使い方ができ、パーテーションで仕切ることにより個室にもなり、大きさは自由に区切ることができるものとする。



下川町まちおこしセンター「コモレビ」エントランス
(下川町移住交流サポート「タノシモ」HP)



仙台国際センター駅「青葉の風テラス」
イベントスペース

基本機能⑧ コインランドリー

業務用洗濯乾燥機その他、家庭では洗いづらい布団を洗える大型洗濯乾燥機や運動靴が洗える専用洗濯機など多機能なコインランドリーを目指す。また、クリーニング店の誘致も検討し、利便性を高める。

おしゃれな洗濯雑貨や手に入りにくい機能性洗剤も自動販売機などで販売し、旅行者だけでなく、町民も気軽に利用できるものとする。

待っている間はフリースペースやカフェ、温浴施設でゆっくり休憩することができるものとする。



小清水町防災拠点型複合庁舎 コインランドリー「ワタシノ」
(小清水町 HP)



下川町宿泊研修交流施設「結いの森」洗濯・乾燥機
(下川町宿泊研修交流施設「結いの森」HP)

(2) 保健福祉【相談・検診・予防】

基本機能① 保健福祉に関する総合相談窓口・事務機能

保健福祉に関する手続きを行う窓口を1つに集約し、ワンストップで対応できるようにする。

個別に相談ができる相談室も設置し、保健福祉の事務機能を完結させて担うことにより、町民の満足度向上を図る。



小清水町防災拠点型複合庁舎 町民サービスカウンター
(小清水町 HP)



夕張市拠点複合施設「りすた」南支所
(夕張市拠点複合施設「りすた」HP)

基本機能② 老人福祉センター機能

年配者が交流を楽しみながら参加できるような娯楽室や機能回復訓練室などを備える。娯楽室では、ボードゲームなどを設けたり、出入りが出来る屋外空間に菜園や庭園などを設けるなど、多世代で一体的に楽しめるように配慮する。

機能回復訓練室では、理学療法士が行う筋力訓練をはじめ、衣類の着脱や食事などの日常生活動作訓練や、手芸・工芸、柔道整復師などによるマッサージなどを行うものとする。



札幌市あけぼのアート&コミュニティセンター
コミュニティガーデン



旭川まちなか市民プラザ シニア大学 講座室
(旭川市 HP)

基本機能③ 保健センター機能

健康維持のために運動できるようなスペースを確保し、健診時は、健診車が駐車し、屋外とスムーズに出入りしながら、歯科健康相談、集団検診などを行えるようにする。

日常的には、健康体操やフィットネス、ストレッチなどのプログラムを行う。サークル仲間と趣味を楽しめるようにし、参加しやすいプログラムづくりや、つながりが生まれる仕組みづくりに努める。



上土幌町ふれあいプラザ 幼児歯科検診
(上土幌ナビ(上土幌町 HP))



古平町地域福祉センター 乳幼児健診(古平町 HP)

基本機能④ 健康スペース

温浴施設の前後に多世代が楽しめるヨガや太極拳、ストレッチなどのプログラムが行えるようにし、観光客なども気軽に参加することができるようにする。多目的フリースペースと繋げることにより、日常で一体的な使い方ができるようにする。



古平町複合施設「かなえーる」
(古平町社会福祉協議会 HP)



苫小牧市沼ノ端交流センター「トピリカ」
ミーティングルーム
(苫小牧市沼ノ端交流センター「トピリカ」HP)

(3) 観光【PR・遊び・収益】

基本機能① 地場産品・農産品販売コーナー・コンビニエンスストア

幌延町の特産品であるトナカイ肉やサロベツ合鴨セットなど、町内の加工品やお土産を揃え、観光客が寄りたくなる場所とする。

また駐車場から直接出入りできる場所にコンビニエンスストアを誘致する。さらに多目的フリースペースや軽食提供の場とつなげることにより、購入したものを座ってゆっくり食べることができるようにする。



道の駅あびら D51 ステーション
地場産品コーナー



道の駅ピア 21 しほろ アンテナショップ

基本機能② 屋外展示

幌延の新しいシンボルとなる景観的ビューポイントを創出する。思わず写真に収めたくなり、SNSに拡散されるようなガーデンやシンボルツリー、印象的なオブジェなどを設置する。



上士幌町ナイトテラス ビューポイント
(KAMISHIHORO NAVI(上士幌町観光 HP))



道と川の駅「花ロードえにわ」



全国都市緑化仙台フェア未来の杜せんたい
モニュメント



道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」
モニュメントエリア
(道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」HP)

基本機能③ インフォメーションコーナー(案内所)

幌延町を含む宗谷エリアの観光やイベント情報が得られる観光案内所として、相談やアドバイスを行う。また、デジタルサイネージやモニターを設置し、カウンター業務時間外でも情報が得られるように検討する。



道の駅「摩周温泉」観光案内所(道の駅「摩周温泉」HP)



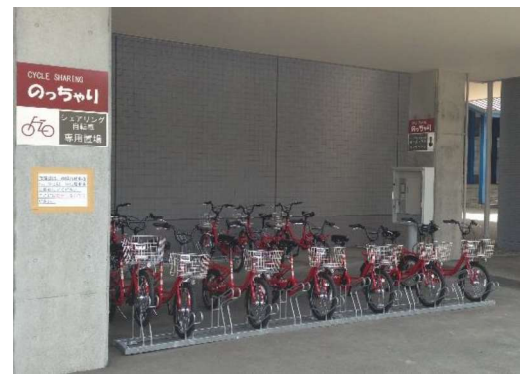
旭川市国際交流センター 総合カウンター
(旭川市国際交流センターHP)

基本機能④ 自転車貸し出しサービス

観光客や町民の運動機能を高めるため、自転車の貸し出しを行う。インフォメーションコーナー(案内所)と連携し、自転車を使った観光案内のほか、自転車で旅するサイクリストや町民を対象とした自転車空気入れや工具の貸し出しなども行う。



名寄市駅前交流プラザ「よろーな」
レンタサイクル
(名寄市 HP)



野幌駅周辺地区サイクルシェアリング
「のっちゃり」

(4) 地域(広域)交通【移動・暮らし】

基本機能① 交通拠点中継ターミナル

JR やバスなどの拠点ターミナルとして、座ってくつろげる待合スペースを設ける。バスや迎えの車が見える窓側にスペースを設置し、多目的フリースペースと連続させることにより、にぎわいを感じることができるようにする。

また、タクシーが常駐できるスペースや町民乗車票の販売などを検討し、町民の利便性を向上させる。



夕張市拠点複合施設「りすた」
待合交流スペース
(夕張市拠点複合施設「りすた」HP)



奈良県 平城宮跡歴史公園 朱雀門ひろば
みつき館バス待合所
(平城宮跡歴史公園 HP)

基本機能② 町内循環バス(患者輸送車両)等ターミナル

町内を循環するバスの拠点となり、外出が不便になる冬期間も気軽に立ち寄れる場所とする。

また災害時、緊急物資の資材集約や分配作業、緊急時の消防、患者搬送などを行う拠点として機能する。



奈良公園バスターミナル(奈良公園 HP)



道の駅あびら D51 ステーション
アトリウム 無料休憩コーナー

5-1-2. 防災【備え・安心安全】

基本機能① 非常用発電施設

非常時に発電できる蓄電池設備を設け、緊急時でも安心して電源の確保を行えるものとする。非常用電源や携帯電話の充電など緊急避難所として町民の安全を確保する。



道と川の駅「花ロードえにわ」
蓄電池設備(恵庭市 HP)

基本機能② Wi-Fi 設備(施設全体)

通信環境の安定的な確保と館内の無料 Wi-Fi を整備する。加えて無料充電設備も整備し、旅行者や町民が安心して携帯電話の充電ができる設備を整える。



道の駅あびらD51 ステーション
公衆無線 LAN Wi-Fi
(道の駅あびらD51 ステーション HP)



なかふらの「まちなかオフィス」
(中富良野町企画課ナカライフ HP)

基本機能③ 備蓄保管庫

災害時に備えて、食料や、水、毛布などの備蓄品を保管する。災害時に緊急避難所となるため、すぐに備蓄保管庫から物資を取り出せる環境となる。



古平町複合施設かなえーる 防災棟
(古平町 HP)



道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」
防災倉庫
(道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」HP)

5-1-3. 付帯施設

基本機能① ゆったり駐車場・電気自動車充電器

高齢者や女性でも停めやすく、ゆとりのある駐車場を備える。また、近年需要が多い電気自動車にも対応するため、急速・普通のスピードで充電できる電気自動車充電器を備える。



道の駅ピア 21 しほろ(道の駅ピア 21 しほろ HP)



道の駅石狩「あいろーど厚田」電気自動車 急速充電装置
(道の駅石狩「あいろーど厚田」HP)

基本機能② 多目的・清潔トイレ

清潔でキレイなトイレを整備し、子どもや親子連れなど使いやすく、明るいトイレを備える。オストメイトや車いすなどにも対応した多目的トイレも整備し、高齢者や障害がある方も気軽に利用できるものとする。



道の駅 風 W(ふわっと)とままえ 多目的トイレ
(苫前町 HP)



岡山県 道の駅レストセンター あわくらんど
多目的トイレ(岡山県 HP)

基本機能③ 再生可能エネルギー発電設備

太陽光や風力などの再生可能なエネルギーシステムを設置し、リチウムイオン蓄電池を導入することで、災害時の一時避難所等防災拠点としての機能強化を図る。

また、防災訓練等を通じて、積極的に地域住民等に施設の PR を行い、災害発生時における再生可能エネルギーの有効性を啓発する。



福井県 越前市エコブリッジ交流センター
「風の館さかのくち」風力(展望塔)
(福井県 越前市エコブリッジ交流センター
「風の館さかのくち」HP)



道の駅あびらD51 ステーション 太陽光パネル
(道の駅あびらD51 ステーション HP)